

第2回シャーシシェアリング 実証実験マニュアル



令和4年10月11日

国土交通省
関東地方整備局

1. 実証実験の目的および検証内容

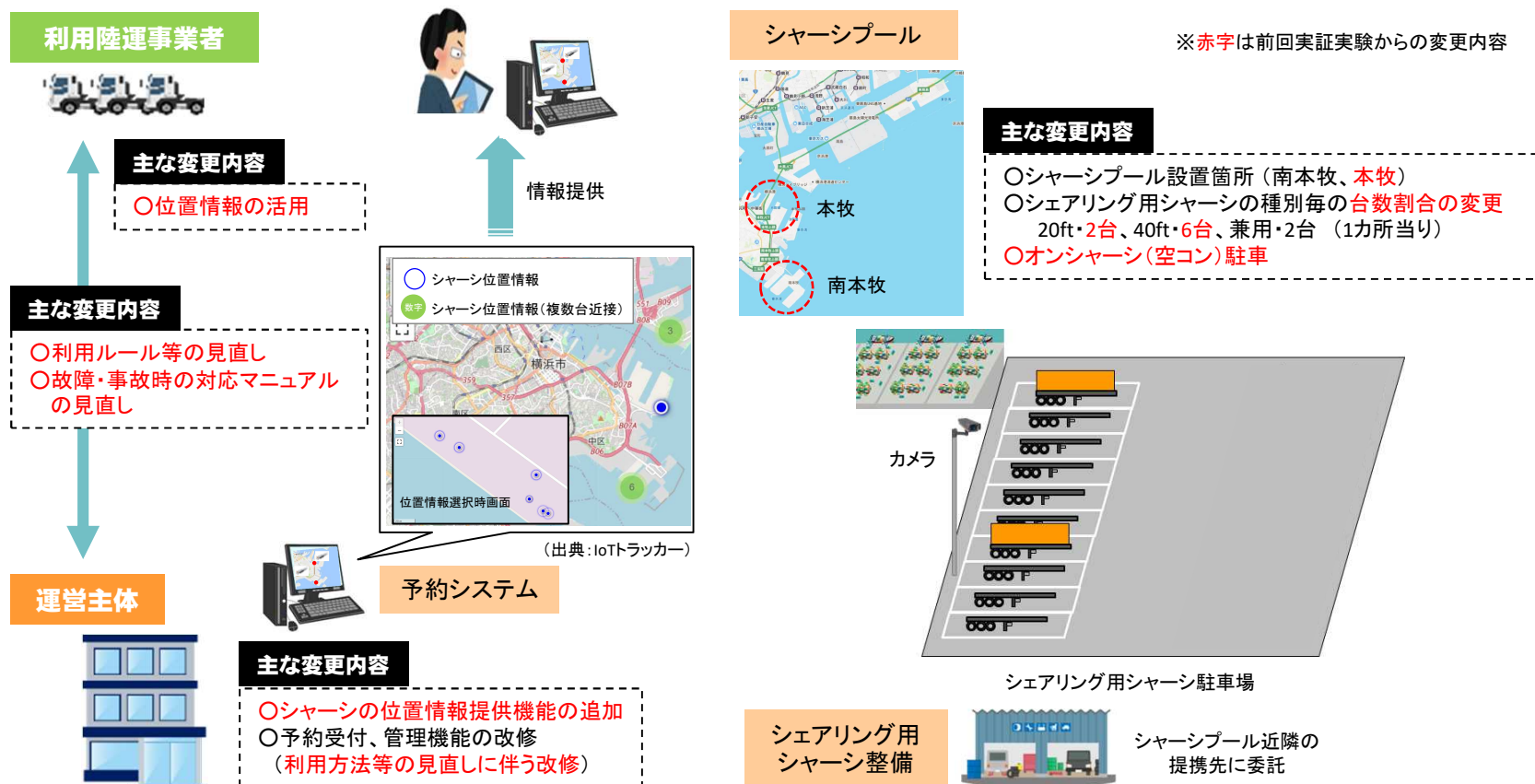
■実証実験の目的

横浜港においてコンテナターミナル周辺の混雑やドライバー不足など、ドレージ環境が悪化する中、シャーシの位置情報を活用しつつシェアリングすることによる、シャーシ運用の効率性向上や、走行距離の削減、コンテナターミナル周辺の混雑解消など、輸送の効率化と陸運事業者の業務軽減などの生産性向上を通じて、横浜港の国際競争力強化が期待される。

位置情報管理機能を備えたシャーシのシェアリング導入に向け、導入効果や運用上の課題を把握することを目的に、横浜港においてシャーシの位置情報管理及びシャーシシェアリングの実証実験を実施する。

【令和4年度実証実験のポイント】

- 令和3年度のシャーシシェアリング実証実験結果を踏まえ、次回実証内容を検討
- 大きな変更点 ①シャーシプールを2箇所に増設 ②利用陸運事業者にシャーシ位置情報を提供



1. 実証実験の目的および検証内容

1) 予約システムおよび関連する情報提供サービスの見直し・拡充

- 位置情報の提供拡大（利用陸運事業者へ予約システム上から位置情報の提供）
- 予約の変更・キャンセル期限の見直し（シャーシの使用開始時刻前まで予約システム上で手続き可能）
- 予約時間より早期に返却されたシャーシの貸出への対応（利用者から予約センターに返却の報告）

2) 施設・設備面の強化

- シャーシプールの増設（南本牧ふ頭、本牧ふ頭の2箇所配置）
- シェアリングシャーシの種別毎の台数割合の変更
（1シャーシプールあたり 20ft:2台、40ft:6台、兼用:2台）
- 車両ナンバー認証カメラ等を活用した車両の出入管理の技術的検証→ 机上検討により実施

3) シェアリング等の利用内容の見直し・拡充（ルールの検討）

- オンシャーシ（空コンテナ限定）駐車への対応
- 利用時間の拡大（24時間化）

4) 車両管理方法の見直し

- 消耗品の交換、事故時の対応（責任分担の明確化）

1. 実証実験の目的および検証内容

■ 検証内容

検 証 項 目	
輸送や車両管理の 効率化（利用者）	複数シャーシプール設置による走行距離等削減および配車効率の効果検証
	シャーシプールの利用方法変更による配車効率の効果検証
	位置情報の活用による配車効率の効果検証および利用上の課題の把握
利用方法等の改善	利用率の把握
	利用パターンの把握
	利用方法・ルールの検証
	シャーシシェアリング予約システムの運用面の課題把握
管理方法の効率化 （管理者）	オンシャーシ駐車の管理運営手法の検証及び課題の把握

2. 実施概要

■ 実施期間

令和4年10月31日(月)～11月26日(土) (4週間) ※日曜日・祝日を除く

■ 参加者

横浜港シェアリングエコノミー研究会 参加陸運事業者

3. シャーシシェアリングの利用方法

3.1 使用車両

(1) シェアリングシャーシ 20台

【内訳】20ft・3軸:4台、40ft・3軸:12台、兼用・3軸:3台、兼用・2軸1台 ※各種1台は予備車両

車種区分	メーカー	型式	管理番号	備考	
20ft・3軸	トレクス	NCCTB32082	M21		
			M22		
			H21		
			H22		
40ft・3軸	トレクス	NCCTB34081	M41		
			M42		
			H41		
			H42		
			H43		
	フルハーフ	KFKGG340W	M43		
			M44		
			H44		
			KFKGF340W	H45	
			KFKGG340	M45	
		M46			
		H46			
兼用・3軸	フルハーフ	KFKHG340	MK1		
	東急	TC36H1C35	HK2		
			HK1		
兼用・2軸	東急	TC28H8B2S	MK2	・予備車とする。3軸の使用が必要な場合は他のシャーシプールにある3軸の予備車を使用する。 ・最大積載量が23,300kgのためご注意ください。	

(2)トラクターヘッド 計 81台

※使用するシャーシとトラクターヘッドの情報は予約システムに事前登録します。 5

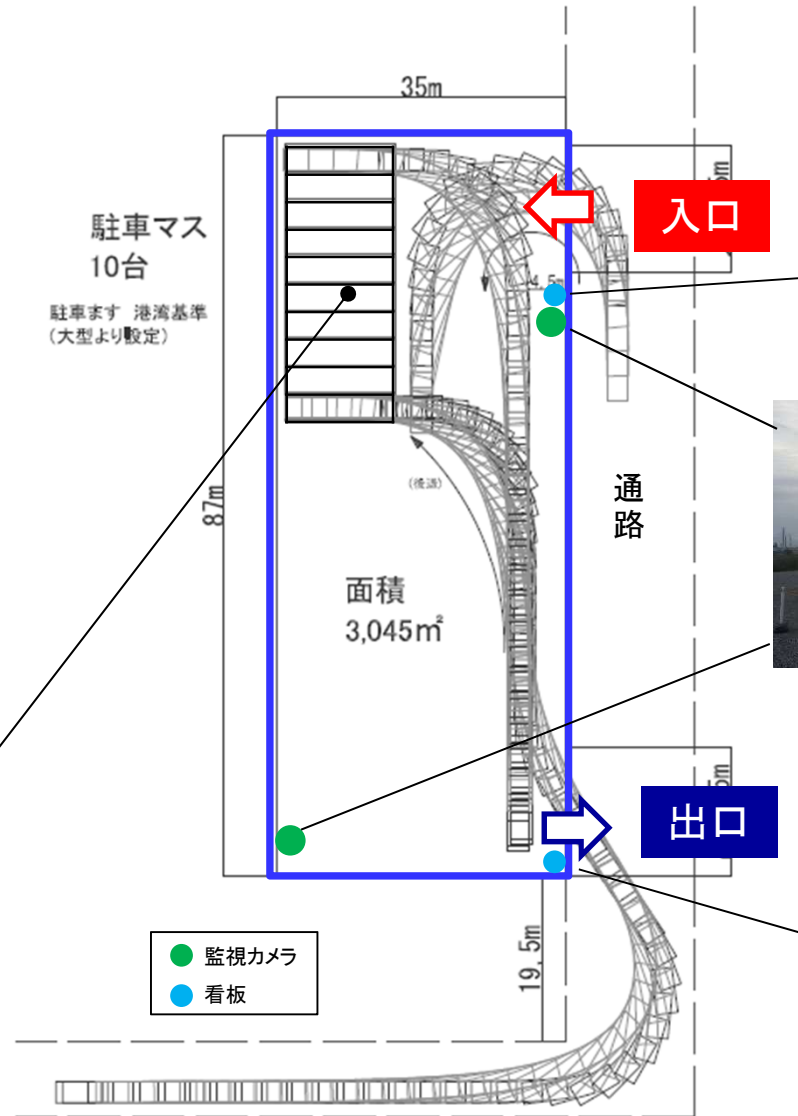
3. シャーシシェアリングの利用方法

3.2 シェアリング用シャーシプール

・南本牧ふ頭および本牧ふ頭A突堤にシャーシシェアリング用のシャーシプールを設置します。

【利用時間】 24時間入退場可能

①南本牧ふ頭



入口看板



監視カメラ



出口看板

【駐車マス】10台分

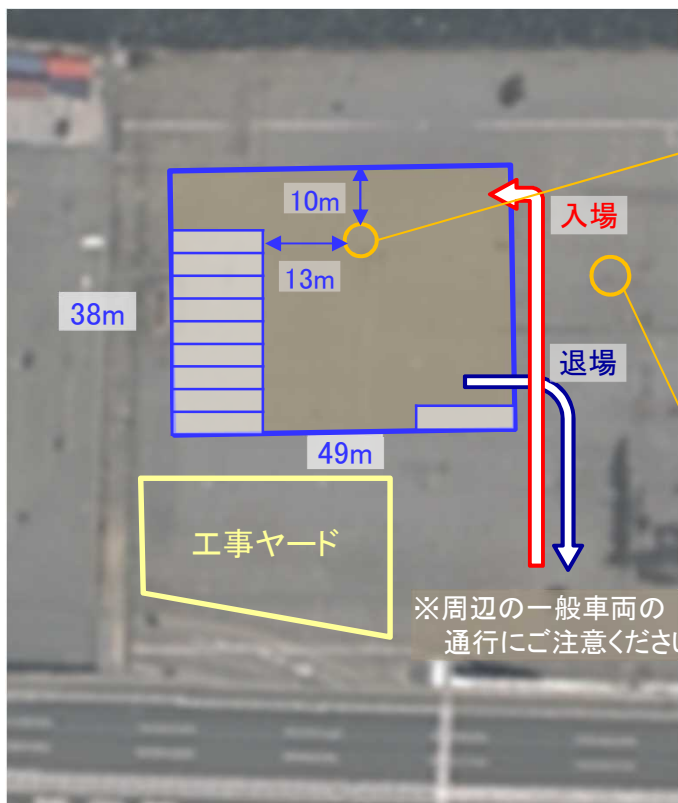
予備車

MK2 (兼用 2軸)
M46 (40ft)
M22 (20ft)
MK1 (兼用)
M45 (40ft)
M44 (40ft)
M43 (40ft)
M42 (40ft)
M41 (40ft)
M21 (20ft)

②本牧ふ頭A突堤 (A4バース背後)



(出典:地理院地図に加筆)



(出典:地理院地図に加筆)

※周辺の一一般車両の通行にご注意ください

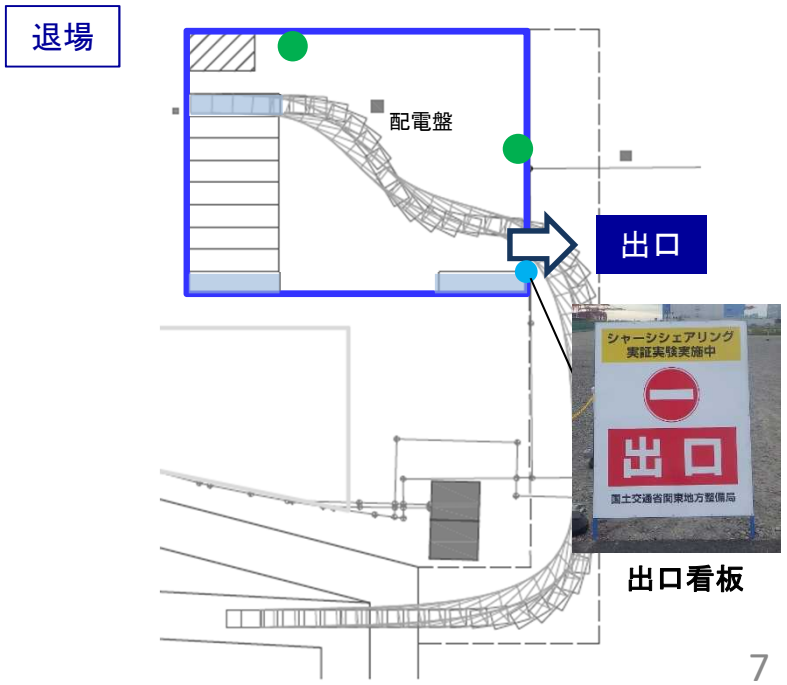
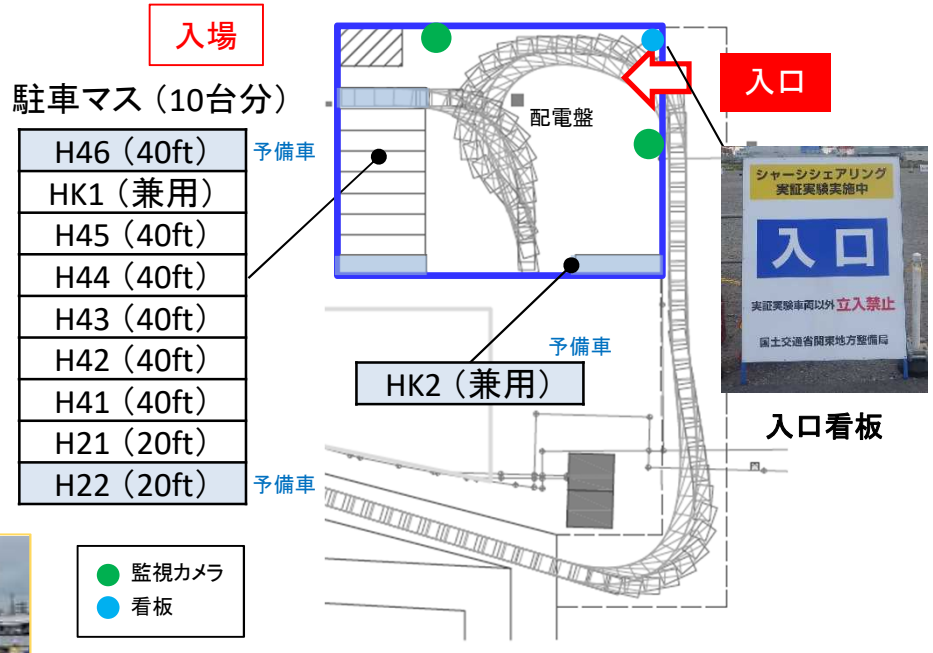


配電盤



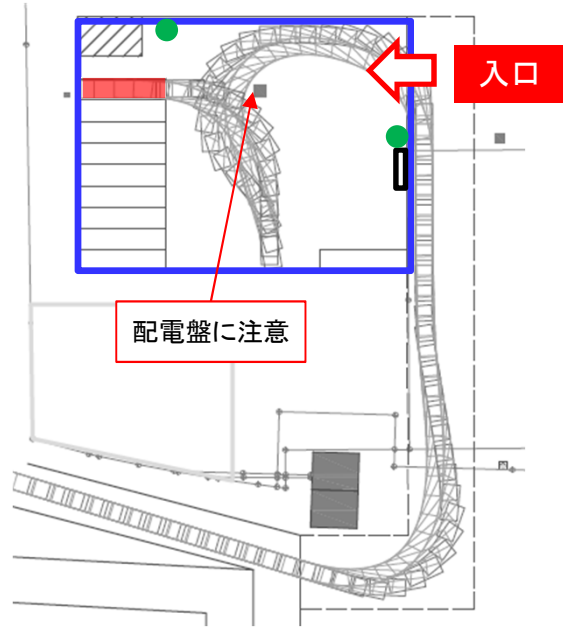
照明灯

※通行の際には構造物にご注意ください

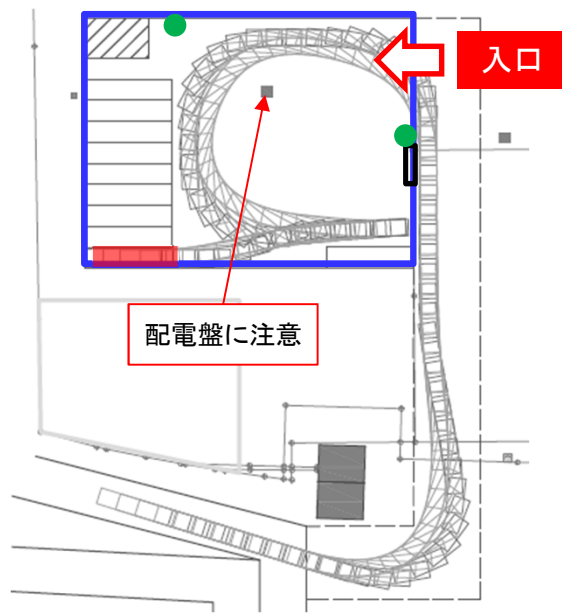


入場

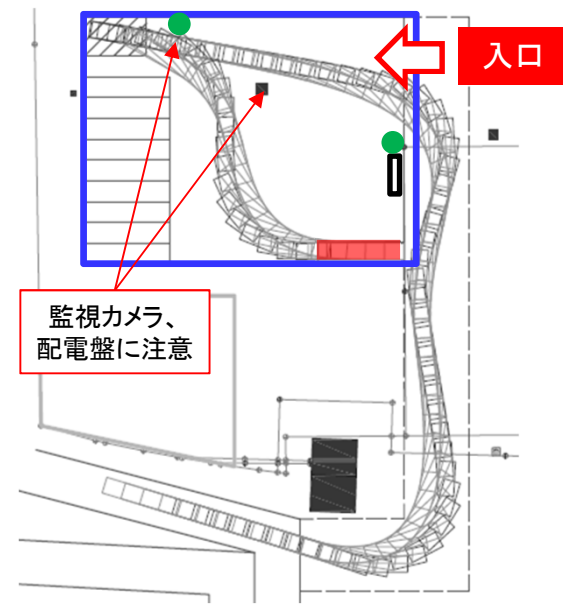
例①



例②

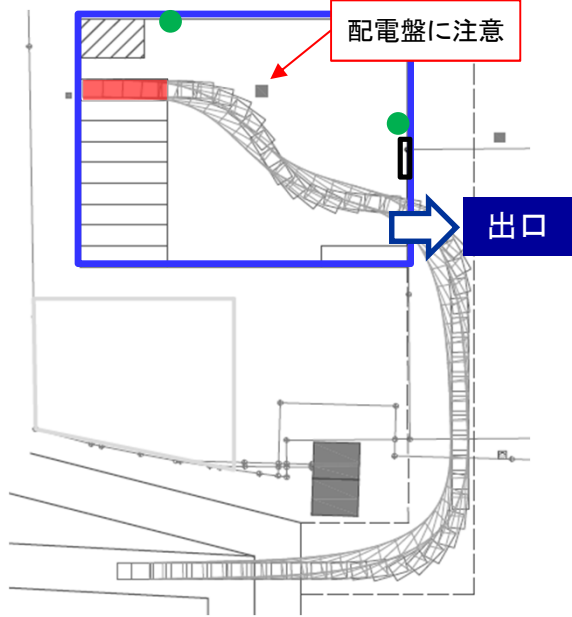


例③

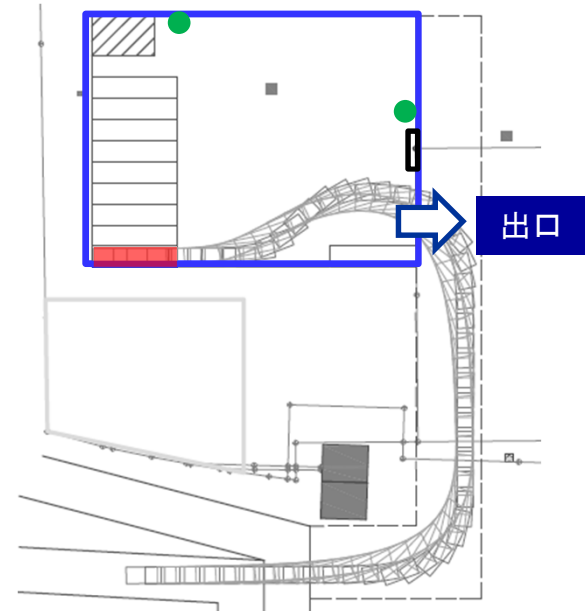


退場

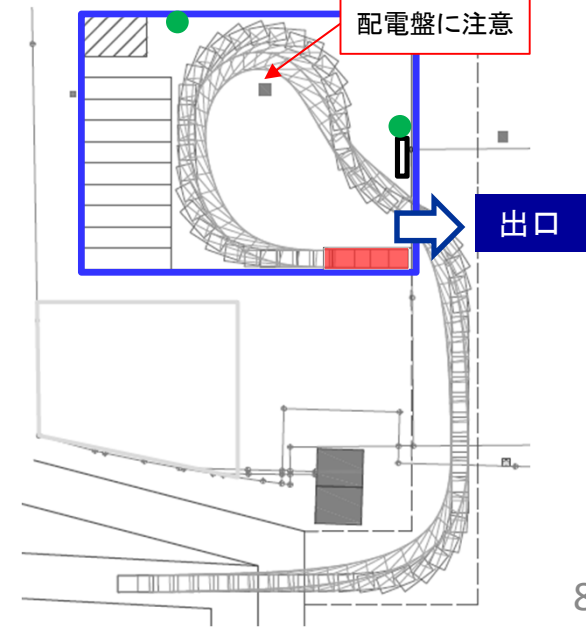
例①



例②



例③

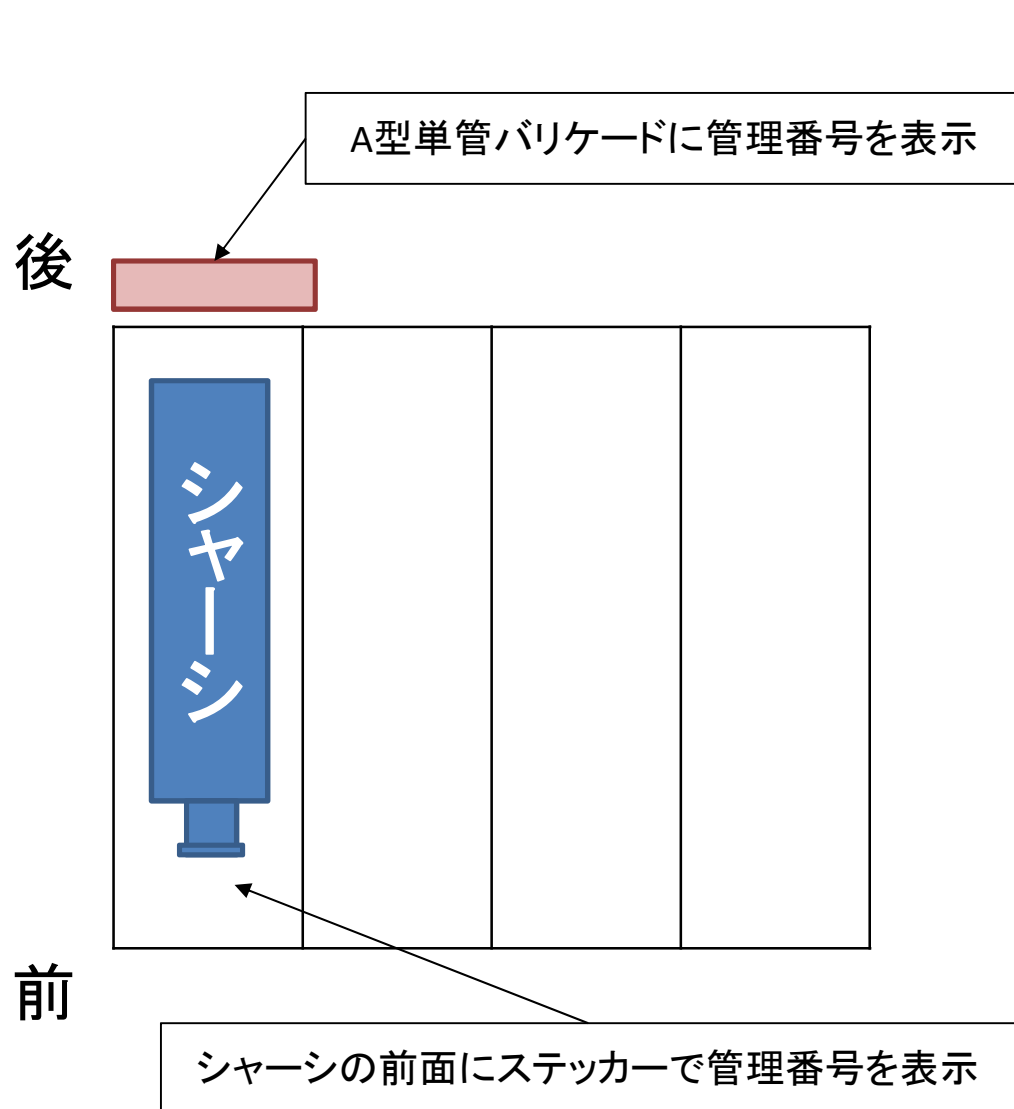


● 監視カメラ

3. シャーシシェアリングの利用方法

【シェアリングシャーシ管理番号等の表示方法】

シャーシおよび駐車マス後方に、シャーシの管理番号（駐車場番号）を表示します。



表示イメージ



3. シャーシシェアリングの利用方法

3.3 シャーシプールの利用に係る注意事項

- ・場内は一方通行です（駐車時の後退は除く）。
シャーシプールに設置した表示に従って、決められた入口・出口から入退場ください。
- ・予約した管理番号の駐車マスを利用ください。
- ・駐車マスに輪留めを設置していますが固定されていない為、駐車時は後方の障害物に注意下さい。
- ・実入りコンテナを積載したシャーシの駐車はできません。（空コンテナの積載は可能）
- ・実証実験用のシェアリングシャーシのみ駐車可能です。（各社が所有するシャーシのご利用はできません）
- ・シャーシプール内で事故等が発生した場合は、「3.6 緊急時の対応方法」を参照に予約センターへ連絡ください。



駐車マス



監視カメラ

3. シャーシシェアリングの利用方法

3.4 シェアリングシャーシの予約、貸出・返却ルール

- ・予約は専用ウェブサイトから手続きします。
- ・事前に各社のウェブサイトアクセス用ID・パスワードを発行します。
- ・予約手続きおよびシャーシの貸出・返却のルールは下表のとおりです。

項目		ルール
予約 手続き	手続き期間	・利用当日の予約時刻まで予約申込可能。（日曜日・祝日を除く）
	予約の確定	・希望する利用条件（車種・日時等）に適った車両の空きがあれば即時に予約が確定。 ・早期返却されたシャーシは即時に予約可能とする。 （利用者から予約センターに返却を連絡し、予約センターにおいて予約可能に設定）
	変更・キャンセル	・予約システムを用いていつでも予約の変更・キャンセルが可能。
貸出 ・ 返却	時間	・貸出・返却時間は24時間。（予約センター受付時間は7:00～19:00） ・最大貸出期間は72時間。（日曜日・祝日は貸出期間に含めない） ※シャーシの返却後、次の利用までインターバルを設けないため、時間に余裕を持った予約および返却をお願いします。
	使用台数	・原則 1社につき1日2台まで。 ・ただし、利用日の2営業日前の16時以降に予約が入っていないシャーシがある場合は、3台目以降の予約も可能。
	返却場所	・利用後のシャーシは貸出を行ったシャーシプールに返却ください。
	点検	・シャーシの貸出前、返却後にドライバーがシャーシの点検を行い、点検表を事務局へ提出。

※赤字:前回の実証実験から変更となった内容

3. シャーシシェアリングの利用方法

【予約申込・利用期間のイメージ】

○平日使用する場合 (例) 11月9日(水) 10:00～利用

	7日 (月)	8日 (火)	9日 (水)	10日 (木)	11日 (金)	12日 (土)	13日 (日)	
予約申込			10:00					
	予約入力可							
利用期間			10:00			10:00		
			最大72時間利用可					

○日曜日・祝日をはさむ期間使用する場合 (例) 11月2日(土) 10:00～利用

	1日 (火)	2日 (水)	3日 (木)	4日 (金)	5日 (土)	6日 (日)	7日 (月)	
予約申込		10:00						
	予約入力可							
利用期間		10:00					10:00	
		最大120時間利用可						

3. シアーシシェアリングの利用方法

3.5 位置情報の利用方法

予約システムのサイトで、予約したシアーシの位置情報を確認をすることが可能です



[位置情報]のタブをクリックすると
シアーシの位置情報画面に切り替わります



(出典: Google mapに加筆)

(出典: Google mapに加筆)

3. シャーシシェアリングの利用方法

3.5 位置情報の利用方法

位置情報を表示
したいシャーシの
情報を入力

利用中シャーシ位置情報

ヘッド車番
▼


シャーシ種別
▼

予約ID
参照

表示/更新

(参照) 現利用しているシャーシの予約IDの一覧を表示

予約ID : 381	あ 0001	5/24(火) 6:00 ~ 5/27(金) 0:00	一般1
予約ID : 384	あ 0001	5/24(火) 8:00 ~ 5/27(金) 8:00	一般1
予約ID : 385	あ 0002	5/24(火) 8:00 ~ 5/27(金) 8:00	一般1
予約ID : 386	あ 0004	5/24(火) 8:00 ~ 5/27(金) 8:00	一般1



条件の合うシャーシの位置を地図上に表示

(出典: Google mapに加筆)

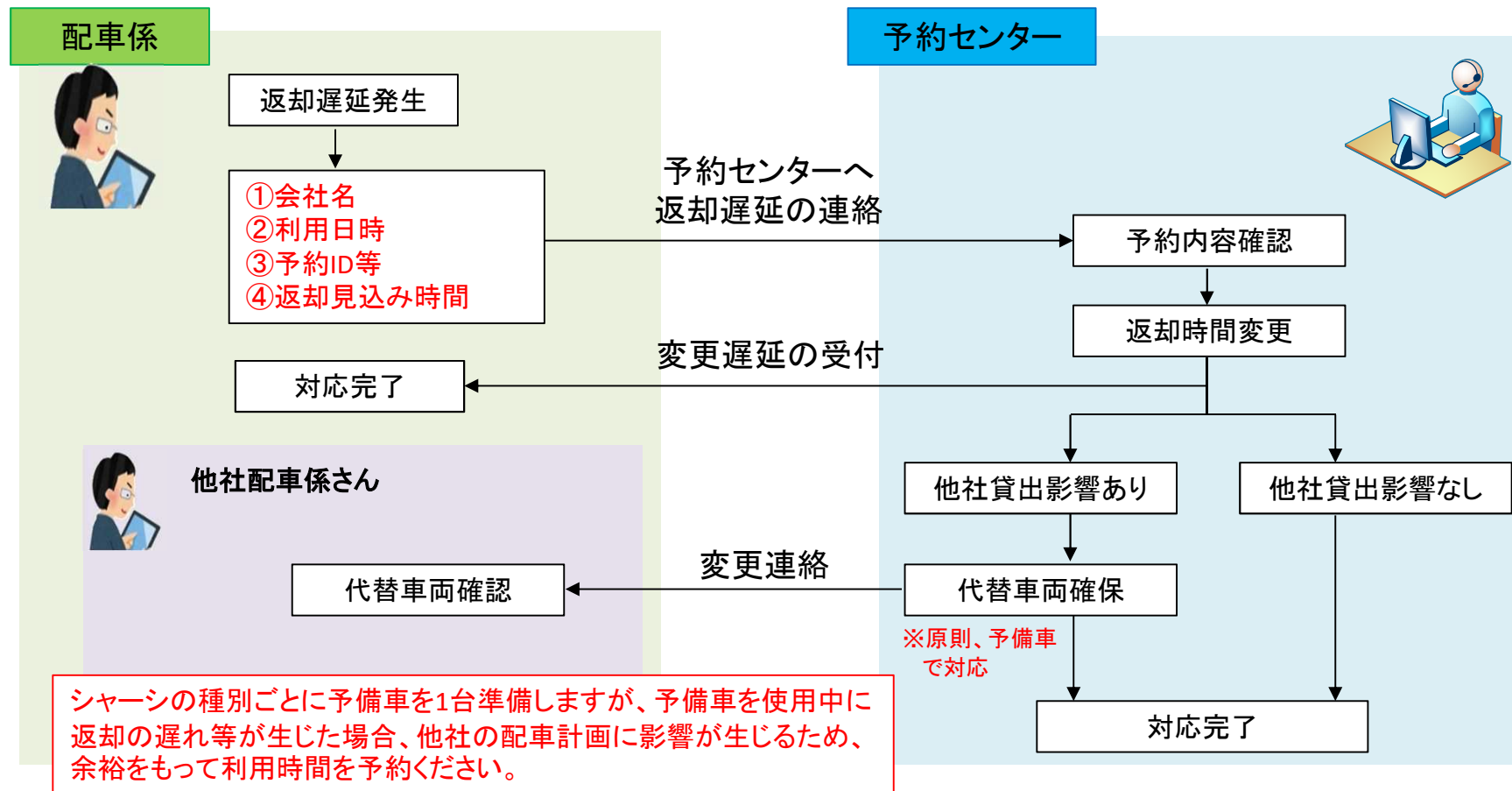
- ・予約したシャーシについて、予約した利用時間の間のみ位置情報が表示されます。(利用時間前、利用時間後は表示されません)
- ・走行中は5分に1回の頻度で位置情報が更新されます。(トンネル内など通信環境が悪い場合は、更新が遅れる場合があります)
- ・停車中は位置情報は更新されません。(停車している場所を表示)

3. シャーシシェアリングの利用方法

3.6 緊急時の対応方法

(1) 使用中のシャーシが返却予定時刻までに返却できない場合の対応

予約センターへ電話し、会社名、利用日時、予約ID(不明な場合、シャーシ種別・登録番号(ナンバー)・駐車場番号)をお伝えいただき、返却予定時刻までに返却が不可になった旨と返却見込み時間をご連絡ください。

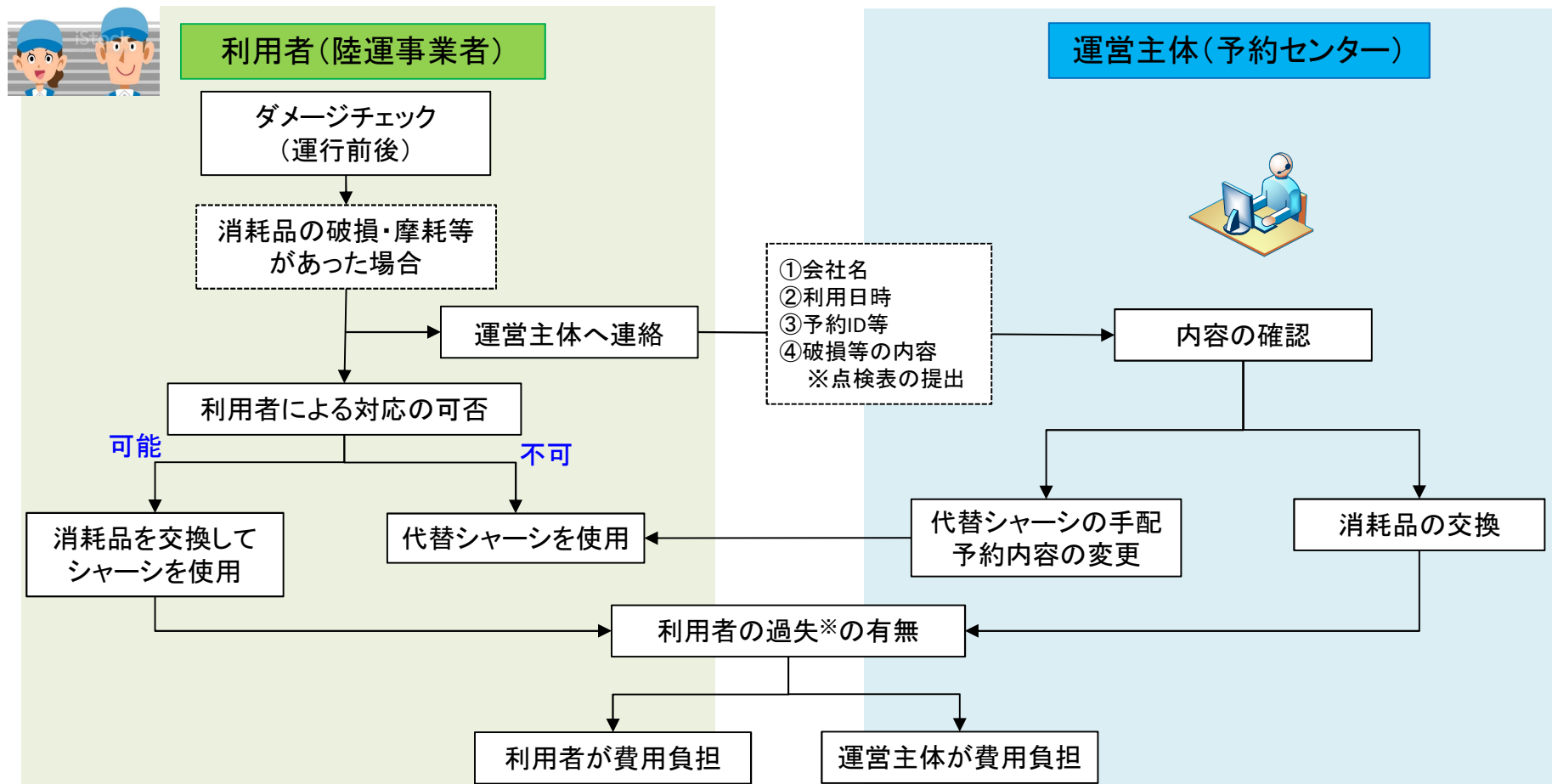


3. シャーシシェアリングの利用方法

3.6 緊急時の対応方法

(2) 消耗品の交換

- ・消耗品(タイヤ・灯火電球)の破損や摩耗等については、運営主体が対応します。
- ・なお、運送業務上、速やかな対応が必要となるため、消耗品の破損・摩耗等が確認された時は、一旦、利用者が修理・交換などを行い、その費用について、後日、運営主体に請求する対応も可能とします。



※利用者側の過失(例)

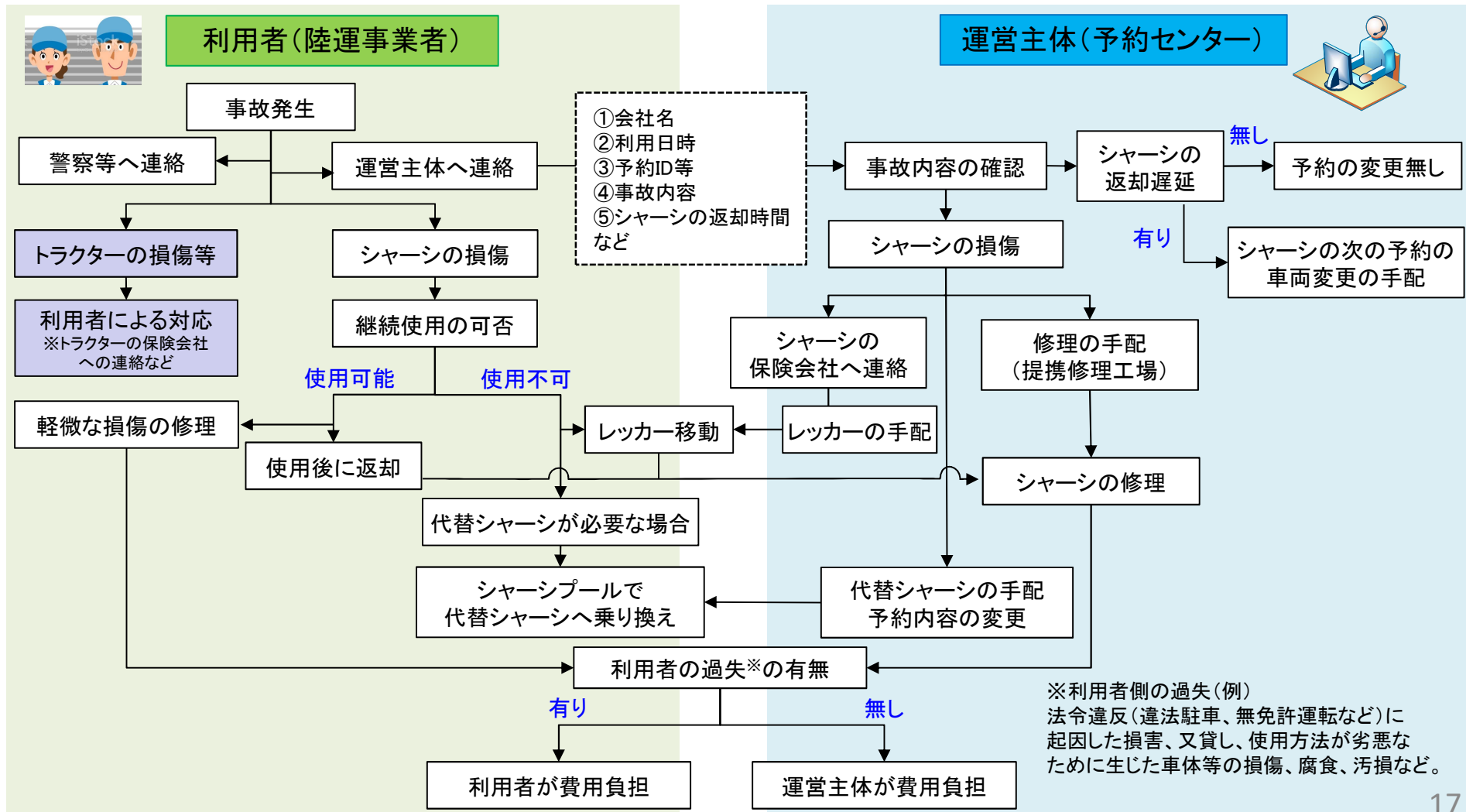
法令違反(違法駐車、無免許運転など)に起因した損害、又貸し、使用方法が劣悪なために生じた車体等の損傷、腐食、汚損など。

3. シャーシシェアリングの利用方法

3.6 緊急時の対応方法

(3) 事故時の対応

- ・事故の責任については、利用者の過失の有無に応じて、対応を決定いたします。
- ・原則、シャーシに係る事故を対象とし、トラクタに起因する事故は、利用者の保険で対応していただきます。



4. その他重要事項

■ 損傷・故障等が発生した場合

- 使用前または使用中に損傷・故障等が発生・発見した場合は、速やかに予約センターへ連絡ください。
- シェアリングシャーシの使用中に損傷等が発生した場合
 - ・使用中の事故による損傷・故障等は、使用者にて原状回復いただきます。
 - ・損傷・故障等の要因が使用者による場合は、使用者に修理費用を負担いただきます。
- 経年劣化やその他の要因不明の損傷・故障等については、個別に協議の上、取扱いを決定します。

■ 事故等による貨物輸送等の損害への対応

- 貨物輸送の遅延等により荷主等に損害が発生した場合は、利用者が契約している貨物保険により対応をお願いいたします。

■ 消耗部品について

- シャーシの消耗部品の経年劣化等については、原則、実施主体が修理・交換を行います。
- 灯火装置の球切れについては、実験中は各社ドライバーにて交換していただき、実験終了後に使用した個数に応じて料金精算または新品を現物交換いたします。
- 使用中のタイヤのパンク、バースト(事故・人為的損傷を除く)については、使用者にて修理・交換いただき、実施主体が費用を負担します。

■ 位置情報管理端末について

- 本実験で使用するシェアリングシャーシには、位置情報管理端末を設置しますので、取り扱いにご注意ください。
(次ページ参照)

■ シャーシの車検証及び諸元表について

- シェアリングシャーシの車検証及び諸元表は、シャーシ付属のボックス内に保管しますので、必ず携帯をお願いいたします。

4. その他重要事項

■位置情報管理端末の設置イメージ

(シャーシ前方に設置する場合)



(シャーシ後方に設置する場合)



※端末の設置位置はシャーシの形状により異なります

■収納ボックス(車検証及び諸元表)の設置イメージ



5. 実証実験に係る協力をお願い

運転日報の提出および事後アンケートのご協力をお願い

- ・位置情報分析のため、事務局指定の様式により運転日報の提出をお願いします。提出は書面またはexcelデータをメールにてシャーシ返却後、翌日までにご提出をお願いします。
- ・実証実験終了後に、アンケートを実施しますのでご協力をお願いします。
- ・実験で得られたデータやアンケートの回答内容は統計的に処理し、個別の企業が特定されないよう秘匿に取り扱います。また、実証実験の目的外への使用はいたしません。

【参考資料】シェアリングシャーシ点検表

借受事業者		運行管理者確認欄	
シャーシ駐車場番号			

【利用開始時点検】

点検日時	月 日 :	点検実施者(運転者)	
------	-------	------------	--

項目	損傷	損傷		※損傷内容および対応(修理、交換等)について記載	
		なし	あり		
①車両の外観	車体の汚れ※1、損傷等※2 (既存の軽微なものを除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	ツイストロックの損傷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
②反射器	汚れ、損傷および取付け状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
③灯火装置	灯火電球及びレンズの異常	車両前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		車両後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④タイヤ点検	亀裂、損傷、異常磨耗、異物の噛み込みの有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
⑤駐車用脚	ランディング脚の巻き揚げ、撒き下げ時の違和感	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
備考 (上記以外の不良箇所、不良の具体的状態、その他の特記事項) ※3					
■灯火電球を交換しました。			個	※実証実験終了後、実費又は現物支給で精算します。	
■既存の軽微な損傷等は確認しました。		<input type="checkbox"/>		※確認後チェックをご記入下さい。	

※シェアリングシャーシ点検表は、返却時点検終了後、速やかにメールもしくはFAXにて予約センターまでご提出をお願いいたします。

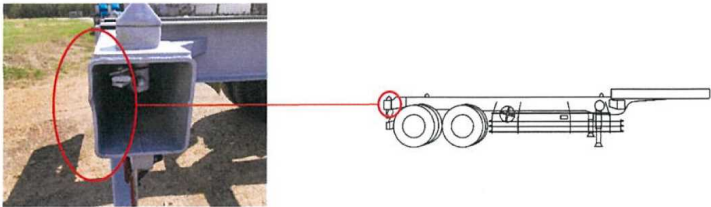
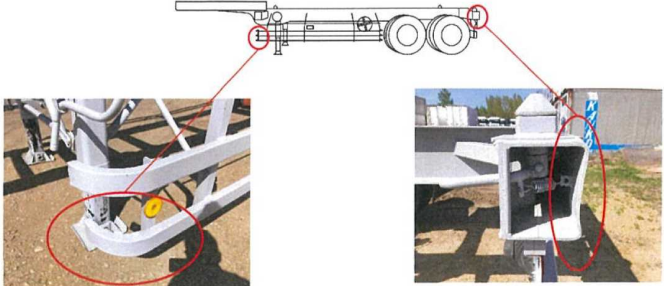
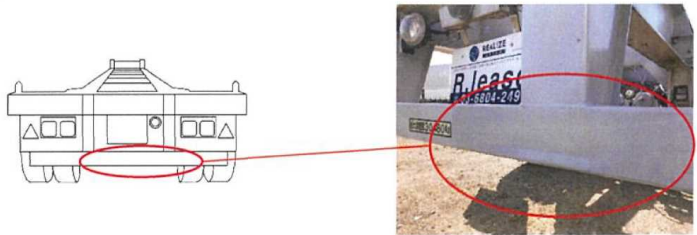
【返却時点検】

点検日時	月 日 :	点検実施者(運転者)	
------	-------	------------	--

項目	損傷	損傷		※損傷内容および対応(修理、交換等)について記載	
		なし	あり		
①車両の外観	車体の汚れ※1、損傷等※2 (既存の軽微なものを除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	ツイストロックの損傷	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
②反射器	汚れ、損傷および取付け状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
③灯火装置	灯火電球及びレンズの異常	車両前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		車両後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④タイヤ点検	亀裂、損傷、異常磨耗、異物の噛み込みの有無	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
⑤駐車用脚	ランディング脚の巻き揚げ、撒き下げ時の違和感	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
備考 (上記以外の不良箇所、不良の具体的状態、その他の特記事項) ※3					
■灯火電球を交換しました。			個	※実証実験終了後、実費又は現物支給で精算します。	

※1コンテナからの油漏れ等、次の予約者へ悪影響となる汚れが著しい場合、清掃してから返却するようお願いします。
 ※2既存の軽微な損傷等は別添資料参照。
 ※3損傷・不良箇所については写真を撮影し、後日画像データをご提出願います。

【参考資料】点検表(別添資料)のイメージ

管理番号	H41	登録番号	〇〇 100 ● * * * *
車種区分	40ft・3軸	メーカー・型式	フルハーフ KFKGG340
納車時の 軽微な 破損箇所	【右側面】  フレーム 歪み	【左側面】  バンパー 歪み フレーム 歪み	
	【後部】  バンパー ヘコミ		

【参考資料】運転日報様式

事業者名	
日付	トラクターヘッド 登録番号 or 社番
令和4年 月 日 (曜日)	通常利用するシャーシの車庫(名称・住所)

赤枠の列は、セルの右上をクリックすると、ドロップダウンリストが出てきます。

シャーシNo.	発地		着地		走行・待機	業務内容	シャーシの状態
	時間	場所	時間	場所			
					①	①	③
					① ②	A ① ② ③ ④	① ② ③ ④
					②	⑥ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	
	:						
	:						
	:						

1)「走行」を選ぶと、「業務内容」のセルはAのドロップダウンリストが出てきます。

2)「待機・台切り」を選ぶと、「業務内容」のセルはBのドロップダウンリストが出てきます。

3)シャーシの状態の列もドロップダウンから選択します。

位置情報の活用	②	具体的な内容
---------	---	--------

走行・待機
① 走行
② 待機・台切り

業務内容	
走行の場合	待機・台切りの場合
① コンテナターミナル搬出入	⑤ コンテナターミナルでの待機
② 荷主・倉庫への配送	⑥ 荷主・倉庫での待機
③ 車庫・シャーシプールへの出入	⑦ 車庫・シャーシプールでの待機・台切り
④ その他	⑧ その他

シャーシの状態
① ヘッドのみ
② 空シャーシ・回送
③ オンシャーシ(空)
④ オンシャーシ(実入)

位置情報の活用
① CONPAS予約業務への活用
② 配車業務への活用
③ 荷主問合せへの対応
④ その他

— 実施主体者 —

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室

TEL:045-211-7437

FAX:045-211-0204